



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2017年3月1日

3月号・第182号

奈良・人と自然の会

会長 鈴木 未一



創立十五周年記念の集い

Contents

ホームページでは、**カラー**で見ることができます

URL <http://www.naranature.com>

壮春力歩	1	俳句百景	11
多土済々	2	癒しの散歩道 & ならやま茶論	12
Monthly Repo.ならやま	3	ギャラリーならやま	13
里山の今	4・5・6	ならやまプロジェクト	14
29年度・月例研修会計画	7	行事案内	15
29年度・自然教室計画	8	行事案内 & 行事予告 & 仲間入りしました	16
青垣春秋	9	幹事会報告・編集後記	17
29年度・歴文研修会計画	10		

壮春力歩

会長 鈴木末一

『子孫から借りている自然だから』

35年ほども昔の話になりますが、自然保護と環境問題について、約250篇のレポートに目を通していた時、『子孫から借りている自然だから』というテーマが目飛び込んできました。アメリカの先住民の間に、先祖から子々孫々へと伝えられてきた教訓だということです。それ以来、この言葉は忘れることができないのです。科学技術の進歩に伴う文明の発達、私たちの生活様式を大変革させてきました。しかし、その反面多くの課題を自然界から人類に突きつけられてもいます。

新春講演会で、寮美千子さんの講演を聴きながらレポートのことを思い出し、オーバーラップさせつつ聞き入っていました。

近年、開発の名の下に繰り返されてきた自然破壊、環境悪化について、関心も高まりつつあります。1日でも早く『緑の保全』『ストップ温暖化』を成し遂げていくために地球規模で取り組まなければなりません。全人類共通の課題であり、歩調を合わせて自然保護の活動に精励することが不可欠であります。

ところで、昨年10月、会は生物多様性アクション大賞に入賞しました。そのことによって、全国で活動している市民活動『にじゅうまるプロジェクト』の仲間入りをさせていただきました。これに関わることについて、以下に記してみましたので、ご一読ください。

私たちが豊かに生きていくために必要な衣食住・医療・文化、それを支える産業や科学は自然の恵みなしには考えられません。長い年月の変化の中で、人々がその恩恵を受け続けてこられたのは、生命の多様さ・生命を育む場の多様さと多彩なつながり＝生物多様性があったからです。

私たちの周りの生き物の多様性に気づき、守り、賢く活用することは、私たちだけでなく、私たちの子どもたちが、この豊かな恵みを受け続けるための大事な取り組みです。

生物多様性の危機に対して、世界全体で取り組んでいくことが欠かせないことから、1992年に、「生物多様性条約」が生まれました。この条約は、生物多様性を守り（保全）、将来の人々のことを考えて利用し（持続可能な利用）、利用から得られる利益を公平に配分することを目的に、196の国と地域が参加しています。2年に1回、条約に参加する国が集まり、これまでの成果、これからの取り組みを話し合う「締約国会議」と呼ばれる会議を開催しています。

具体的な活動の一例として、**みんなの力で日本の田んぼに生きものにぎわいを取り戻そう!**というのがあります。トンボが舞い、メダカが泳ぎ、夜はカエルの大合唱。かつては当たり前に見られた田んぼの生きものが、今急速に消えようとしています。ラムサール・ネットワーク日本は田んぼを住处（すみか）とする様々な生きものが、農業、環境、そして心を支える底力となっていることに注目し、田んぼの生きものの多様な世界を再び取り戻すために、様々な取り組みの受け皿となる「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト」を開始しました。

このプロジェクトは、ラムサール条約（国際湿地条約）と生物多様性条約を水田の生物多様性をつなぎ、両条約で採択された田んぼの生物多様性向上決議に沿った活動を実施するための仕組みです。これまで日本各地で個別に実施されてきた、田んぼの生きものと地域の人々の持続可能な暮らしを取り戻そうとする様々な活動を、このプロジェクトで束ねて、よい事例を共有・拡大し、より大きな力にしようとするものです。「田んぼの生きもの調査」、「冬水たんぼ」などの支援を行ないながら、田んぼの生物多様性に関心を持つ全国の農業関係者や市民などに広く参加を呼びかけ、様々な方々と協働し、生物多様性を活かした地域づくりの輪を広げてゆきます。

私たちのならやまの活動も、そのような主旨にマッチしたものであることが認証されたのです。日常の取り組みを一步一步前進させ、生物多様性の復活、ひいては『子孫から借りている自然』をより良い状態でバトンタッチするために・・・。

多士 済々

朴訥な古武士のように

平田 範光 さん

顧問 川井 秀夫



ならやま里山活動がスタートして間もなく、平成 22 年に入会され一貫して山仕事に従事され、現在グループリーダーとして活動していただいております。

入会の動機はコープ

での阿部和生氏の講演に触発され、自然大好き人間として、オンドリ夫婦として、存在感を示しておられます。お人柄は温厚朴訥な方で、私の目には甲冑を着けると戦国の古武士の様に、堂々たる体躯に、作業衣姿が板につき頼もしく映ります。

ご出身は美作の国、津山の生まれ。津山盆地の豊かな自然に恵まれ、昔、国府の置かれた松平氏十万石の城下町として栄えた歴史の町と言われます。

現役時には奈良に転じ、大手 IT インフラ企業のエンジニアとして各所を拠点に活動されたとお聞きしました。先端技術から人文の世界へ幅広い活躍を期待しております。

「酒呑みは酒呑みを知る」。最近よく酒席を共にします。寡黙で静かなお酒で、崩れない飲みっぷりに、こちらが辟易することがしばしばです。先日、JR 奈良駅の駅前酒場でバッタリ。電車待ちのひと時、止まり木に一人酒。様になっていましたね～、範光さん。

先日、お酒を飲みながら当会の酒豪列伝を並べて見ました。東横綱 平田範光さん。西横綱・・・さん。大関・・・さん。関脇・・・さん。名前を伏せますがそうそうたる方が並びます。早く俺も

「稀勢の里」の様になりたいな～。いやいやこれだけは自重・自戒ですぞ。

三年前から私は羽尻 嵩さんと囲碁を打つようになり、二人では淋しいので愛好の方を探しておりましたら、平田さん、倉田さん、最近では池山さん、松尾さんが参加され、月一回学園前の碁会所でパチリ、パチリとやっています。大将格は平田さん（四段）羽尻さんと私が（三段）倉田さん（初段）松尾さん・池山さん（一級）。ハンデがあるので対等勝負で楽しんでおります。（初心の方も男女を問わず一度覗いて下さい）

当会の祝年も見事な節目を経て、夢の未来に向けて「驕らず」「浮かれず」「高ぶらず」初心に戻り再出発です。色々な課題が見えて来ますが、最重要課題は「人間」です。

「人の和」「人の智」「人の力」「人の繋がり」、労力の行使はマイペースで結構です。老いたる者も体力は劣化しますが、瞬発力はまだまだのものが残されています。次世代の巨大な動力こそ未来を築く原動力であると信じております。

平田さんには酒も囲碁も勝てませんが、精神力は六十代を自負しております。健康第一で共に頑張りましょう。



Monthly Repo. ならやま

八木 順一

2月2日(木) 活動 晴れ 59名+5名

2月を迎え、協働作業やグループミーティング等、忙しい月初めになった。しかしまだ寒く、風邪を引いた、インフルエンザになった、といった話がサイトを駆け回る。



体力の衰えとともに風邪も引き易くなる。健康には十分気をつけたいものだ。朝の打ち合わせでは、健康面への留意のほか、近大生によるビオの説明会の連絡等が行われる。この説明会は、昼食時間を使っての説明になったが、短い時間にもかかわらず、要領よくまとめられており、大変分かり易かった。長い時間と体を動かしての実際の手組みが結実したようだ。里山Gは記念植樹を中心とした協働作業、エコGはエンドウの施肥、そして景観Gは実りの森の倒木処理が続く。また、ビオは池整備に加え、近大生を交えての水生生物調査、花は山野草園の草取り、そしてパトは恒例のパトロールに観察路の整備が行われる。

2月10日(金) 臨時活動 曇り 11名

厳しい寒さが続く。また、雪のため、竹が倒れ掛かったり、看板や掲示板が傷んだり、いろいろな施設の不具合もみつかると。そして、その修復も大変だ。普段から心



したい。前日の悪天候のため、臨時活動を11名の参加者が行うが、昼食後1時には終了。里山は販売用薪割り、エコは育苗ハウスのビニール張り替えとハウス内の整備を行った。

2月16日(木) 活動 晴れ 68名+1名

前週とは一転して、春本番を思わせる暖かい気候になり、風邪の季節もやっと過ぎ去ったと思われる。参加者の表情からも、何かゆったりとした雰囲気を感じられるのもそのためか。

里山Gはイベントに向けての植樹や遊びの森の準備、エコGは水田の整備やチップ散布、そして景観Gも実りの森の整備や、こちらもチップ散布を行い、春に向けての地道な活動も佳境を迎える。

また、池の水抜きが中心になった池班、花の移植が主な作業になった花班、そしてパトロールと散策路整備に取り組んだパト班と、こちらも忙しい一日の



活動になった。また佐保川地域自治会から、佐保川桜まつり燈

火会実行員委員会代表の橋本さんが来訪され、4月に行われるイベントの紹介・参加要請をされた。食事を摂りながら交歓をする。本日から新しいキャリアカーが入る。説明会の後、早速サイトで動き回る。新しい戦力になりそうだ。

鈴木会長の作成された、新しいならやまの看板が設置され、新規購入のキャリアカーの搬入もあり、ベースキャンプが、一層華やいだ気分満ち溢れた。



里山グループだより

山本隆造



里山の今

エコファームだより

富井忠雄

◆サクラを記念植樹

創立 15 周年記念事業の一環として、北斜面部分皆伐実験区跡地と彩の森にサクラを植樹することになり、2月の協働作業でそれぞれ 10 本と 5 本の苗木を植え付けました。以前の協働作業で植栽予定地の整備と、植樹穴掘りを行っていたことでもあります。60 人余の人に参加頂いたことで短時間の内に植樹を終えることができました。

植樹したサクラは樹高 4 m 程、幹径が数 cm と大きな苗木で、植え付け場所への運搬も 3 人がかりという



もので、今年の春に花を咲かせてくれるものと思います。また 6 つの品種が植え付けられ、どんな花が咲くかも楽しみです。

さて、ナラ枯れの話です。「ここならやまでのナラ枯れは終息した」と考えてよいのではないかと思います。以前の「パトロール班だより」(2016 年 4 月号)で紹介しましたが、自然の森観察路沿いで、カシナガの侵入を受けて枯死を免れたコナラ 43 本を、2014 年 11 月から観察してきました。昨年(2016 年)この内の 2 本が枯死しましたが、新たなフラスなどは見られず、再度のカシナガ侵入は認められません。ナラ枯れに耐え、一度は生き残ったものの、カシナガ侵入から 2 年目で枯死したのは、樹勢の衰えによるものと思われます。

昨年ならやま全体でも、同じ現象によると考えられるナラ枯れが散見されますが、数はわずかです。

ならやまでは 2012 年に最初のナラ枯れが発見されて 5 年が経過し、2016 年で終息したと思われます。当分の間、倒木や枝落ちには十分な注意が必要かと思われます。

◆ 感謝祭のジャガイモ

今の時期は、冬野菜の収穫も終わりに近づき、次の春夏野菜の準備で畝作りをやります。その中で今春の感謝祭で使用する「ジャガイモ」についての知識を！！

ジャガイモの原産は、ペルー南部とされ、16 世紀にスペイン人によってヨーロッパへ伝えられ、日本には 1603 年ごろ、オランダの商船がジャワのジャガタラ(ジャカルタの古名)から長崎に伝えました。ジャガイモの名前も、地名のジャガタラに由来するものです。男爵は明治末にアメリカから、メークインは大正初めにイギリスから、北海道に渡ってきました。

ジャガイモの栄養、効能効果はビタミン C やビタミン B、B6 などのビタミン類、カリウムやマグネシウムなどのミネラル、植物繊維なども含まれたバランスの良い食品です。ジャガイモのビタミン C は加熱しても壊れにくい性質があるため効率よく摂取することができます。

また、ストレス、精神安定、むくみ、高血圧予防や、腸内環境改善・免疫力アップに役立ちます。ジャガイモの皮は栄養素の 20% が含まれています。鉄分やカルシウムやビタミン C も多く含まれていて、皮付きで食べたほうがビタミン C 効果と相乗して生活習慣病予防や美肌効果がアップすると言われています。

*男爵:ホクホクした食感です(白色)。肉じゃが・コロッケ・粉ふきイモに適しています。

*メークイン:舌ざわりのよい、煮崩れしにくい品種(白色)。シチュー・カレーライス・ポテトサラダ・じゃがバターなどに適しています。

*キタアカリ:ほのかな甘みとホクホクした、ビタミンが豊富な人気品種です(淡黄色)。コロッケ・ポテトサラダ・グラタンに適しています。

ならやまでは、2~3月に植え付け、6月頃収穫し、春の感謝祭に美味しいカレーなどに使われます。

景観グループだより

中川 徹

当会の会員になったのは偶然でした。草刈り機を担当するようになったのも、たまたまでした。

しかし、雑草で覆われた空間が瞬く間に刈り取られ、別の世界に変わることを体験できるのは快感になりました。騒音と振動の中で機械を操作することでなぜか集中でき、草刈り機の担当を希望するようになりました。

あらゆる種類の草を刈り取っての作業をしていると、小学生のころウサギのエサを集めていたことを思い出しました。

ある日、学校から帰ると自宅の庭に2羽のウサギがいました。母親が知人から譲りうけたものでした。アンゴラウサギと言って、少し珍しい種類でした。私は飽きもせずウサギを眺めていました。まもなくウサギの世話は私の仕事となりましたが、少しも嫌ではなかった。

毎日、近所の堤防や草原で新しく買ってもらったカマとカゴを持ち、レンゲ、クローバー、オオバコ、ギシギシ、特に大好物のアザミなどの乳草をさがしていました。

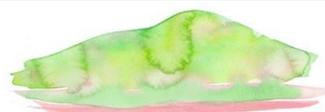
ウサギはやがて子供を産みました。子ウサギが庭を走りまわる姿を思い出します。「人の匂いがつくと親が飼育を放棄する」と言って誰にも触らせなかった記憶があります。

しかし、私が学校に行っている間に野犬の集団に襲われてしまいました。近所のおばさんが「犬がウサギをくわえて逃げていったよ」と教えてくれました。草刈りカマで切った左手の人差し指の傷跡とともに、その声はまだ耳に残っています。

ならやまにも野ウサギが出没するとか、一度出合いたいと思っています。



写真は「アンゴラウサギ」です。



里山の今

パトロール班だより

木村宥子

山には春の足音が聞こえてくる時期になりましたが、冬の美しさもまだまだあります。その中でも私に特別なものを感じさせてくれるのは、朱や利休鼠や枯れ葉色のサルノコシカケの仲間です。勿論今頃生えてきたわけではなく、梅雨のころからあちこちに見られたものです。近年この手のキノコが多くなったのは、玉切りしたカシノナガキクイムシの被害木が多いからでしょう。しかし、さすがに色は半年前と違ってきて、これが人間で言う古稀の色なのかもしれないと、ふと思います。落ちついた深みのある色合いがとてもシックで、それでいて実に魅力的に感じられるのです。

その一方で、ショウジョウバカマは水っぽく足元の悪いところに、濃い緑の葉が生き生きと土を割って出てきています。つぼみもつけています。



左：コナラについたヒイロタケ

右：濃い緑の葉を見せるショウジョウバカマ

驚いたことに東池を上がった皆伐地域のチップを敷き詰めたところに、無数のカブト虫の幼虫の死骸があるのはどうしたことでしょうか。成虫になったらどんなに大きなカブトになっただろうかと思わせる、実に立派なものです。

傷んだ階段の整備や境界のためのトラロープ張りも、菊川さんを中心に常に行っています。しかし急で滑りやすいところは、トラロープでは危険です。このようなところはしっかりしたロープにした方がいいのではないかと、パトロール班では考えています。

ならやま花だより

桜木晴代

2月の朝のならやまは、木も草もみな霜に覆われています。近づいてよく見ると、霜で覆われているホトケノザやタンポポの全身がキラキラ輝いているのです。「ワーキレイ！」としばし見とれてしまいました。

その日の午前中に、Yさんが、「これ見て」とさしだしたのは、薪からはがれた木の皮でした。なんと、皮の内側にビッシリついた霜がそこでもキラキラ輝いていました。Yさんは、あまりの美しさにしばらく見入っていたとのことでした。

「自然って感動的だね！」と共感しあいました。



朝のタンポポ



昼のタンポポ

ヤマコウバシ (山香ばし・モチギ・ヤマコショウ・ショウブノキ・ショウガノキ) *クスノキ科



*クロモジ属(落葉低木) 雌雄異株 (日本には雄の木は少ない)

*冬芽は珍しい、葉と花が一緒に入った混芽

春に小さな淡黄色の花をつけ、秋にはクスノキと同じような実をつける。不思議なことに、受粉せずに結実するらしいのです。

冬でも葉を落とさない(春には1日から2日で瞬く間に新しい葉と入れ替わる)ことから、受験生のお守りとして人気の樹木です。ならやまには西側の山への入り口近くと、佐保自然の森の北の端にあります。

ジュズダマクイズの結果報告

1月26日の活動日に答を発表。ずばり賞を含む6名の方にジュズダマネックレスとブレスレットのセットを進呈。答は4556gのジュズダマで840個のブレスレットができる。一時間に240個のジュズダマに穴をあけることができる、でした。(あくまでも計算上、と桜木の平均です)



里山の今

鳥シリーズ

小田久美子

*ゲソ痕(足跡)の持ち主は誰?

探偵ごっこ*

1/15、雪が降ったあとBさんから「これは誰でしょう?」と、ご質問のメールと共に写真が届きました。その写真は、コインと一緒に撮影されていて、足跡の大きさが判るとても的確な情報でした。同時に「千両の実が食べられている」という事も大きなヒントでした。

皆さんもご一緒に推理して下さい。

- ① 映像の足跡(*)の長さが4cm内外の鳥
- ② 住宅の庭に来る鳥
- ③ 千両の実を食べる鳥
- ④ 留鳥又は冬鳥

(*)三前跡足(さんぜんしそく)=前側の第2~4跡と後ろ側の第1跡の計4本の跡からなる

①~④の条件から、私はセキレイ3種・ヒヨドリ・ツグミ・ヤマガラ・シジュウカラ・アオジ・カワラヒワ・ムクドリを容疑者に上げてみました。でも、チョット待つて。もしかしたら、実を食べた鳥と足跡を残した鳥は違うのかも判りませんね。昼(図書館通い)も夜も「・・・考えると眠れなくなる」昔の漫才コンビさんの様な状態に陥り、最終的にヒヨドリ・ツグミ・ムクドリに絞り込みましたが、素人探偵は結論が出ないままここで降参しました。でもお蔭さまで、新たな視点での観察があることを提示していただき、まだまだ奥が深い鳥見があると認識いたしました。

我が家は、冬限定で餌をやっています。

メジロ・シジュウカラ・スズメ・カワラヒワ・アオジ・エナガ・コゲラ・ジョウビタキ・ヒヨドリ



など、家にも癒される鳥たち。時折イソヒヨドリ・セグロセキレイの美声も聞こえます。

平成29年度月例研修会計画

月例研修会担当 富井忠雄

平成29年度については、奈良（大和）の自然・歴史・文化の探求を目的に、まず大和の古道・旧跡を歩き、探訪します。

その中で自然（樹木・山野草・野鳥など）と触れあったり、神社仏閣を見学したり、その地域の歴史・文化を学び、発見をしたいと思えます。

月	日	曜日	概要	主要行先	例会担当者
H29・4	11	火	室生古道（花見）	大野寺・仏隆寺・室生寺・龍穴神社	◎羽尻・上西・富井
6	13	火	高取城跡・土佐街道	壺阪寺・高取城跡・土佐道	◎下村・岡崎・富井
8	1	火	{夏季研修会} 吉野川源流一三ノ公川	森の水の源流館・丹生川上神社・大滝ダム・水源地の森	◎中井・桜木・富井
10	10-11	火水	{一泊研修旅行} 高知・牧野植物園	県立牧野植物園・桂浜・杉の大杉,祖谷溪	◎小島・鈴木・青木 富井・田矢・桜木
12	12	火	斑鳩三塔	法隆寺・法起寺・法輪寺	◎富井・上西・岡崎
H30・1	?		新春講演会	?	?
2	13	火	下ッ道	二階堂・稗田環濠・羅城門跡	◎永井・下村・富井

※ 各月例担当者は、下見・本番・資料・アルバム作成などお願いします。（3名〜）

※ 各月のアルバム・広報については：青木幸子 ◎印は各例会の担当責任者です。

※ 諸般の事情により、実施日、行先等を変更する場合があります。担当（富井・中井・青木・桜木）

（平成29年1月31日 作成）

平成 29 年度 自然教室チーム 活動計画

(平成 29 年 1 月 25 日作成)

月	自然観察会・学校支援
4 月	春の奈良公園 桜見物 (4/4)
5 月	新緑のならやま 自然観察会 (5/16)
6 月	初夏の奈良公園 子鹿観察 (6/20) 育英小学校：出前教室 (未定) 佐保台小学校：放課後子供教室 (未定)
7 月	
8 月	平城京 燕の埒入り観察 (8/22)
9 月	矢田丘陵 自然観察会 (9/19) 佐保台小学校：昆虫観察会 (未定)
10 月	秋のならやま自然観察会 (10/17)
11 月	秋の奈良公園 紅葉狩り (11/27)
12 月	冬の奈良公園 ムササビ観察 (12/25)
1 月	
2 月	
3 月	早春のならやま 自然観察会 (3/6)



継体大王擁立の謎

歴史文化クラブ 古川 祐司



継体天皇石像（福井市足羽山公園）

今年5月、歴文クラブは越前への歴史探訪を試みる。越の国から擁立された継体天皇の生い立ちの謎を追う歴史ロマンの旅である。事前学習の中から、幾つかご紹介したい。

皇統の断絶と国際情勢緊迫化

5世紀の後半、ヤマト政権は雄略天皇の時代にピークに達する。支配は武蔵国の北部から九州中部に及び、鉄の産地、朝鮮半島の加羅国にも強い影響力を保持した。しかし、489年雄略天皇が没すると、王権は一気に衰退する。没後約20年の間に4人の天皇が交替し、最後の武烈天皇に子は無く、ここに皇統は途絶える。伽耶を巡る半島情勢が緊迫する中、権力の空白に国家の一大危機が訪れる。

救世主男大迹（ヲホド）王の推戴

政権を構成するヤマトの豪族の間の主導権争いを制した大連大伴金村の主導で、越前三国にあって評判の高い「男大迹王」の推戴が決まる。「応神天皇5世の孫」とされる男大迹王であったが、仁賢天皇の皇女手白香媛を後に、「入婿」の形で皇位を継承することとなった（507年）。諡号「継体」とはその辺りの事情を物語るものであろう。

越の国の男大迹王

男大迹王が即位した時は既に57歳の老齢、2人の息子がいた。しかし、その前半生について、史書にほとんど記録がなく謎に包まれる。

地元の伝承では、越の国の発展の礎を築いた大人物とされている。福井県史には、九頭竜川の治水に取り組み、湿地だった越前平野を国内一番の稲作地帯へと変容させた王。また、江戸時代まで最高級とされた「越前和紙」、越前漆器の元祖と

されるなど、国土開発・殖産振興王ともいうべき人物であったとされている。

さらに、文献や考古学上の各種の資料を繋ぎ合わせて、そのイメージに迫ることにする。

男大迹王の出生と生い立ち

父「彦主人（ひこうし）王」は米原市に本拠を持つ息長氏の一族、湖西の高島郷三尾野に別業を持ち、男大迹はここで生まれた。母の振媛は越前の九頭竜川流域を支配した豪族三尾氏の出身で、輝くような美人であったとか。生後間もなく、父彦主人王が死去したため、振媛は故郷の越前三国の高向に帰って男大迹を育てることにした。

三国は北海航路における重要な湊で、朝鮮半島の伽耶国とも直接の交流があり、渡来人も住む国際色豊かな土地であった。このような環境が三尾氏の許で成長した男大迹に、大きな影響を与えたことは間違いない。

婚姻政策、鉄と塩

男大迹は、近江、越前、尾張、河内の有力豪族の女性との婚姻を進める。中でも尾張氏の支配する美濃金生山の赤鉄鉾や近江の河川の砂鉄は、渡来人集団の製鉄技術により国産の鉄造りへと結実した。また越の敦賀の塩は「天皇家は角鹿海の塩」と呼ばれる重要産品だった。鉄と塩の支配は男大迹王の力の根源となったのであろう。

日本海・琵琶湖・淀川・瀬戸内海

大連大伴氏の地盤は河内である。男大迹王は、河内馬飼首荒籠（あらこ）、枚方の茨田連とも連携し、敦賀・琵琶湖・淀川・瀬戸内海をつなぐモノと情報のネットワークを作り上げる。越前の米、戦略物資の鉄と塩、内外の情報を手中に、淀川以北の豪族連合の支持を受けて、ヤマト王権に拮抗する一大勢力となっていたのではないだろうか。

平成 29 年度 歴史文化クラブ年間活動計画

統一テーマ「時代の渚を歩く」

—古代豪族 争闘の足跡を辿る—

*OP・・・オプション

時期		訪問先	テーマ	コメント	主担当
4月	OP	山科から蹴上へ	山路の桜を訪ねて		川井
5月30日～31日	定例	近江・越前	越の国に継体大王のルーツを訪ねる	近江・越の国に謎多き継体天皇のルーツをたどり、併せて鎌倉仏教の曹洞宗大本山永平寺を訪ねる。	越前委員会
6月6日(火)	OP	常光寺、三松禅寺	秘仏拝観と参禅		川井・永井
7月11日(火)	定例	河内・大和	古代豪族・物部氏の実像に迫る	天皇家と並ぶ古さを誇る物部氏の伝承を辿り、実像に迫る。	中井・川井
8月	OP	比叡山	横川中堂から八瀬へ		川井・古川
9月12日(火)	定例	淡路島	国生み神話の淡路島と弥生古代遺跡を訪ねる	国生み神話のルーツを淡路島に尋ね、併せて最近の考古学の話となった銅鐸出土の謎に迫る。	古川・中井・坂東
10月	OP	笠間街道	阿弥陀磨崖仏、毛原廃寺他		川井・弓場
11月14日(火)	定例	飛鳥	東漢氏の史跡を訪ねて飛鳥を歩く	東漢氏は飛鳥を拠点として活躍した。関連の遺跡（於美阿志神社、キトラ古墳〈四神の館〉、高松塚古墳、定林寺跡等を巡る。）	坂東、古川
12月2日(土)	定例	奈良市内	地元史探訪と座学		川井・鈴木
1月	OP	三輪	三輪山初登拝	恒例新春行事	弓場・中井
2月	OP	未定			
3月28日(水)	定例	平郡	万葉集と龍田古道	龍田川にまつわる万葉の歌枕の地を訪ね、あわせて古代豪族平郡氏の実像を探る。	杉本・川井

俳句の巻

監修 川井 秀夫

粉雪と戯れて童の燥はしやぎかな 坂東 久平

2月9日。奈良市街にも今冬初めて積雪を見る。雪景色に飢えた学童たちの歓声が。雪は一日坊主に終る。

雪庭にアート模様の鳥の跡 坂東 久平

自庭に新雪の銀世界。早々と鳥のご来訪。点々と足跡の模様が絵柄を作る。猪の足跡で無くてよかつた。

蠟梅の蕾まで食むは鶉ひよ憎し 古川 祐司

鳥獸たちの餌不足深刻。罪のない本能の仕業でしょうか。里山の菜畑にも被害がでて、丹精のモノにはバリアーが必要ですな。

継体の謎問ふ越は今日も雪 古川 祐司

作者は継体天皇にご執心。今夏訪れる越前に思いを馳せる。歴史俳句は難解。17音に凝縮されてお見事。

到来の文旦の實のまだ熟れず 西谷 範子

文旦はミカン科。果肉は甘酸っぱく苦味がある。果皮は砂糖漬。年末の頂きものが未だ熟れない。ヤキモキも暫くご辛抱。

子地蔵の雪坊主の如菜畑にも 西谷 範子

雪坊主が面白い。主題は雪を被る白菜ですが季語がダブリ悪戦苦闘。「菜畑」で、括られた白菜のオツムの冠雪を想像して下さい。

雪や雪ヤル気そらすな平城山路 小山 喜子男

上五、強調の技法。作者は雪深い草津から遠征される。雪で里山はクローズ。ヤル気に雪をさす、軽口になりませんかナ。

草々のダイヤを纏まとふ霜貴 桜木 晴代

霜景色は詠みたくなる風物詩。「ダイヤ」は少し大げさだが、俳句には誇張も良し。朝の陽光にキラリ、正にダイヤ。

魁さきがけのあわてん坊のつくづくし 桜木 晴代

作者は植物観の確かな人。あれ、まだ寒いのに顔を出してる。坊主頭じゃ風邪引くよ。大地の春の胎動が聞こえる。

ストーブに伸びる手も減り水仕事 八木 順一

人間は現銀なもの。環境が変わると、日常の所作まで変わる。何でもない生活俳句の中に、春気を感じている作者。

立春や喉過ぐ水も速くなり 八木 順一

寒中の冷水は好んで飲むが一息入れる。春水は程のよさ、爽やかに一気に喉を通る。ここにも春が覗く。

切干しの世話に追われる日の匂い 鈴木 末一

大根の乾燥には手間暇がかかる。戦前は保存食として食卓を賑わした。食の大家が一汁三菜に戻れと言う。御尤も。

残り柿の渋抜けし頃鳥騒ぐ 鈴木 末一

里山の柿の柿の大木。群鳥の襲来ですっかりお掃除。不粋なオオタカが飛来して小鳥は大慌て。肉食鳥よ邪魔するな。

鳥辺野の六道の辻飾り泣連しめ 川井 秀夫

松の内。歴史OPの下見。鳥辺野は墓の無い時代の葬送の場。人は死ぬと六つの道を辿ると言う。死者に手向ける注連縄が印象的。

なつやま茶論

「明日に向かって」

竹本 雅昭

ラベル：あの・・・、おばさん、もう少し慎重に願えません。

姉さん：おばさん？誰が？私達のこと？え!!

ラベル：え、そうなんですけど・・・丁寧に裏紙はがしてもらわんと、来賓の方々にお渡しする手提げ袋が恰好悪くなりませんか？

姉さん：そんなこと重々分かってます。あんたは心配せんでもえ、の。それよりも今日は野良仕事と違うから、十分時間かけてお顔をかいてきてますねん、まして場所も場所やし“お姉さん”て呼んでんか。

ナレーター：場所は明日の会場、奈良ロイヤルホテル。

ラベル：これはどうもすいません。いやね、さっきからあちらでニコニコしながらも、“心配脳波”が発信されていて気が気やないんですわ。

姉さん：大丈夫やて言ってるでしょ、そりゃあ白魚のようなきれいな指していた若い時とは違うけど、そやさかいゆっくり落ち着いてはがしてますねん。

ラベル：それでもな・・・明日の大事な大事な創立十五周年記念行事、多くの方々から「一層のお励みを」とお言葉を頂くことでしょうし、ちゃんと・・・ブツブツブツ。

姉さん：えらい信用ないんやな、そりゃあ白く美しい指も遠くセピア色した彼方のこと。でも野良で鍛えたこの指を信頼してんか。

ラベル：それでは宜しく。今度はあっちで男衆が間違いなく、チャンと中身入れてくれるやろうか、それも心配やな。

～終～

癒しの散歩道

若き日の随想

谷川萬太郎

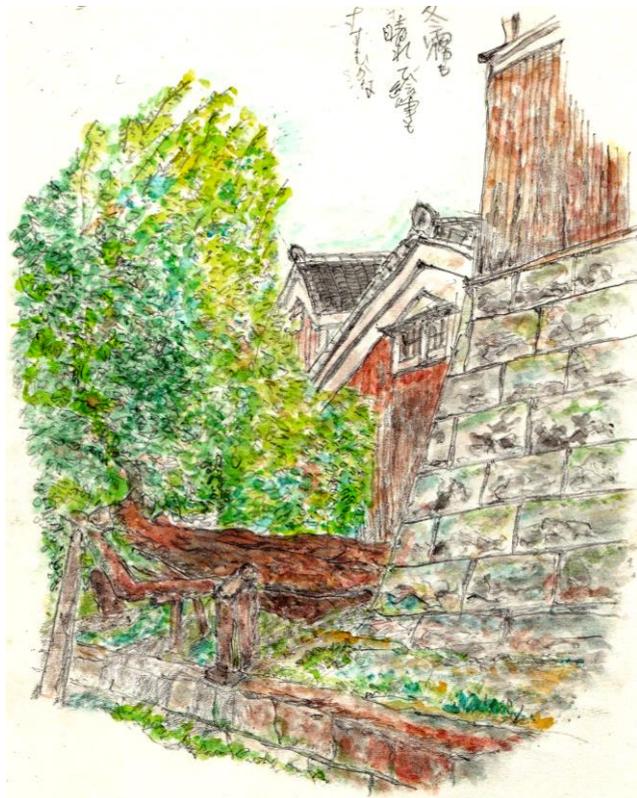
可愛く拗ねて見せる
意地悪な貴女の仕草
思わぬ恋煩いで
私は貴方の虜になった
気も裏腹に心惹かれ
潤む瞳に切ない恋未練

春の海に微笑み返す
光る渚に佇む貴女の姿
ただ傍にいてだけで
ときめく想い溢れる恋心
寄せては返す波の鏡に
映るは貴女の面影美しく





皆様方からのご応募をお待ちしています。
絵画・陶芸・写真・墨絵・手芸作品
パッチワーク・切り絵など



▲八木順一 「伏見冬景色」(水彩画)



▲永井幸次 「白馬ジャンプ台」(油絵)



▲鈴木末一 「ウエルカム鼻」(自然木クラフト)



▲小島武雄 「眠り猫」(陶芸)

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず

活動予定日

3月	2 (木)	9 (木)	16 (木)
4月	6 (木)	13 (木)	20 (木)
	27 (木)		

◆場所：奈良市佐紀町、奈良阪町、法蓮町、法華寺町にまたがる約 20 haの里山林地（県有林）

◆ 集合：現地ベースキャンプ地・午前9時

◆ 終了予定：午後3時

◆アクセス

- ① JR平城山駅下車：東口から南へ徒歩 10分
 - ② 近鉄奈良駅：バス13番乗り場 115系統
8：28発、高の原行き（平日）
 - ③ 近鉄高の原駅：バス1番乗り場 115系統
8：36発JR奈良駅西口行き（平日）
- ②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」下車
徒歩7分

◆携行品など：弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地で用意）



◆ 環境保護のため、お椀、箸、コップなどは各自ご持参ください。



◆ 連絡先：八木 順一

里 山

3/2 「協働作業の日」

椎茸^{ほだぎ}楢木菌打ち・楢木定置／ラクウショウ、銀杏等植樹／マキ割り・マキ材玉切り及び運搬
枯死木伐採・枝整理

9 16 枯死木伐採・枝整理
マキ割り・マキ材玉切り及び運搬

23 30 枯死木伐採・枝整理
マキ割り・マキ材玉切り及び運搬
アースデイ準備作業

エコファーム

3/2 「協働作業の日」

茄子、唐辛子類の苗床に播種
じゃがいも 葉菜類畝作り

9 じゃがいも植え付け
ほうれん草 春菊 葉菜類の播種
ゴボウ ネギ ニンジン畝作り

16 カボチャ トマト 苗床に播種
ゴボウ（滝野川）ネギ（九条、岩津、下仁田）
播種

23 サツマイモ 里芋 予定畑準備 チップ
入れ

30 茄子 唐辛子類の植え替え（鉢上）
エンドウ追肥

景 観

3/2 「協働作業の日」

整備：自転車道周辺整備
ビオ：池の整備
パト：観察路安全パトロール
花：皇帝ダリア園の草引きと柵作り

9
整備：BC周辺整備
ビオ：池の整備
パト：倒木、落下枝片付け
花：西池隣の楔機と斑入りシャガの移植

16
整備：（実りの森）チップパー機
ビオ：池の整備
パト：観察路安全パトロール
花：駐車場西側の草引き、整地、モジアオイの移植

23
整備：（実りの森）チップパー機
ビオ：池の整備
パト：丸太階段、手すり整備
花：夏花の準備、霜囲いの撤去、施肥

30
整備：（実りの森）チップパー機
ビオ：西池水生生物調査
パト：会員向け観察路案内
花：アジサイ・花菖蒲寒肥、畝立て

行事案内 part 1

3月 月例研修会 (歴文共催) 「楽しい明日香の古墳万葉歌碑めぐり」

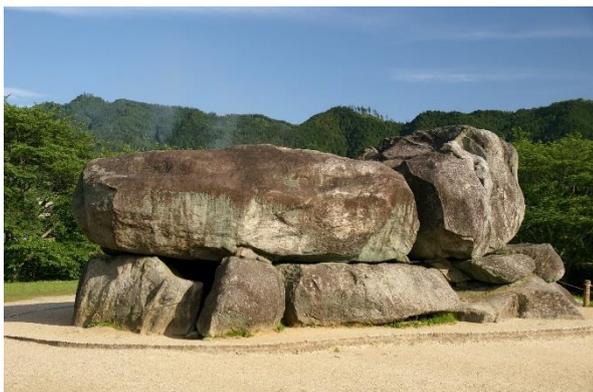
3月の例会と歴・文研修会を兼ねて下記の通り明日香の古墳と万葉歌碑巡りを計画しました。明日香はご承知のように1400年以上前の都邑であり、今も新たな古墳が発掘され新たな事跡が発見されています。最近発掘された話題の古墳と、万葉歌碑を回り、春の一日をみんなで楽しみたいと思っています。沢山の皆様のご参加をお待ちしております。

《実施要領》

1. 日時： 平成29年3月22日(水)
(降水確率60%以上なら中止)
2. 集合： 近鉄飛鳥駅 10:00
3. 行程：
飛鳥駅→ 牽牛子塚古墳→ 石舞台古墳
→ 都塚古墳→ 万葉歌碑巡り → 橋寺 → 飛鳥駅
4. 持物： 雨具、弁当、飲み物
5. 担当世話人： 杉本 登・辻本 信一

^{うねめ}
「采女の 袖吹きかへす 明日香風
都を遠み いたずらに吹く」
志貴皇子 卷1-51

「橋の 寺の長屋に わが^{いね}率寝し ^{うないはなり}童女放
髪は 髪上げつらむか」
卷16-3822



自然教室チームだより 3月行事案内 春のならやま自然観察会

極寒の冬の季節2月は自然観察会もお休みをいただきましたが、いよいよ3月、暦の上でははや春を迎え、本格的な植物観察の時機到来です。

冬から春への橋渡し「お水取り」もいよいよ本番を迎え、三寒四温とは言え、暖かい日が長く続くのはまだもう少し先のことになるのでしょうか？

こんな時期、我がならやまでは華やかな桜に先立ち、淡い紫色の「コバノミツバツツジ」が里山の春を彩り、私達に春の訪れを知らせてくれます。

春を待ちわびた野草たちも負けてはいません。野草料理としても楽しめる、ツクシ、フキノトウはじめ、タネツケバナ、カキドオシ、カラスノエンドウ、ナズナ、ハコベ、ハハコグサ、ヨモギ、ヨメナ、ホトケノザ、タチツボスミレ、キランソウ等々、書き切れないほどの野草が最高の姿で私たちを迎えてくれます。

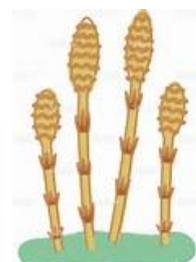
自然教室チームでは下記要領でならやまでの自然観察会を実施いたします。

この機会に、春の好日、みんなでのんびりとカラダを休め、ならやまの春を楽しみませんか。皆様のお越しをお待ちしております。

記

1. 日 時：3月8日(水)
午前10時～午後3時(予定)
2. 集 合：ならやまベースキャンプ
3. 持ち物：弁当、飲み物、(あれば)ルーペ、
図鑑
4. 観察スタイル：私たちの活動場所であるならやまに咲く身近な植物をジックリと観察。
ならやまの自然の素晴らしさを体感(実感)していただきます。
5. 担 当：自然教室チーム
辻本 桜木/山本(美)

以上



行事案内 part 2



仲間入りしました



新入会員歓迎会

渡辺 健造

- ◆日時：平成29年3月23日（木）
午前9時：受付開始
12時～14時半：懇親会
新入会員の方には自己紹介をお願いします。（雨天の場合は3月30日（木）に延期）
- ◆場所：ならやまベースキャンプ
- ◆会費：500円（新入会員は無料です。）
- ◆メニュー：バーベキュー・焼きそば・おでん、さらに昨年好評を博しました蕎麦クラブの皆様による自慢の手打ちそばもご賞味いただきます。

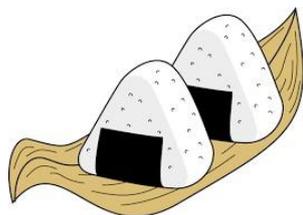
ならやまをウォーキングしているときに、「奈良・人と自然の会」の皆さんと出逢い、平成28年12月に仲間入りをさせていただきました。自然の中の景色を眺めながらのウォーキングです。

私は定年退職後、娘に運動不足と体重増加を指摘され、カロリーを消費する為ダイエットを勧められたのがきっかけで始めました。体調に合わせて地図を見ながら目標を定め、マイペースで持続可能な方法で有酸素運動をしていると思っています。最近の目標はタブレットで地図を見ながら歴史散策と、古代古墳や神社仏閣の写真を撮ることです。しかし、食べるのが好きな私には、減量はなかなか進んでいないのが現状です。神社・仏閣での土産物店でのおいしいものを見ると、すぐ買ってしまっって食べてしまいます。初志貫徹ができないのが今の反省点です。以上、こんな私ですが、今後ともよろしくお願い致します。



4月ならやま活動&行事予告

- ※各自おにぎりを御持参ください。
- ※お皿とお箸などもお忘れなくご用意ください。



- ※ノーマイカーデー
(アルコールが出ますので電車・バスでの来場をお願いいたします。)
- 昨年度途中で入会された方も新入会員として歓迎させていただきます。
- 皆様、奮って御参加ください。

- *ならやま活動
4月 6日（木）協働作業の日
- *自然教室 自然観察会
4月4日（火）春の奈良公園 桜見物
- *月例研修会
4月11日（火）室生古道を歩く（お花見）
・大野寺・仏隆寺・室生寺・龍穴神社
- *アースデー2017 in なら
4月23日（日）
会場：国営飛鳥歴史公園 石舞台芝生広場
- *地域行事 佐保川ワイワイ桜祭り
4月1日（土）
場所：佐保川小学校運動場

平成29年・2月度幹事会報告

日時：1月31日(火) 14:00~17:00

場所：奈良市中部公民館 2F 学習室

出席者：18名 欠席者：5名

I 会長挨拶：記念新春講演会・記念式典実施報告

II 事務局・会計報告

- ① 会員数 151名 (退会により2名減)
- ② グループ別予算案提出を受け予算案策定着手
- ③ 会計報告：12月度収支・予算執行状況報告

III. 活動・行事関係、課題・懸案・確認事項

1. 3カ月並びに当月スケジュールの検討と確認
4/18 臨時幹事会、4/23 アースデー出展
2. ならやまプロジェクト関係：配布資料説明
2/16、23 チッパー借受、整備作業実施
H29年度グループ別予算要求説明
3. 月例研修会(報告と予告)：来年度方針
・「大和の自然と歴史」を主に年6回偶数月開催
4. 自然教室(報告と予告)：来年度方針
・ならやまでの自然観察会を増やす。
5. 歴史研修(報告と予告)：会報記事参照
・1月三輪山登拝25名、3/1 島ヶ原・伊賀上野
6. イベント(報告と予告)：会報記事参照
 - ① 1/5 「新春初出式」実施報告
 - ② 1/22 創立15周年記念行事実施報告
 - ③ 2/25 シイタケイベント開催予定、予備日2/26
 - ④ 3/23 新入会員歓迎会開催予定
 - ⑤ 5/20 第16回通常総会開催予定
7. その他

- ・平成29年度年会費お願い：会報3月号同封
- ・平成29年度各種助成金申請状況報告
- ・佐保自然の森：今後の取り組みについて

IV. 広報関係：ネイチャーなら3月号編集確認

V. 周年行事(事業)：

- 記念事業委員会より式典協力御礼
- 記念誌編集委員会より編纂協力御礼

次回幹事会は、2/28(火)14時奈良市中部公民館

◆ 申し合わせ ◆

- * 通常活動日【木曜日】や屋外のイベントは、前日19時前のNHKの天気予報で、当該地域の午前の降水確率が60%以上の場合、中止とします。
- * 通常活動日が中止になった場合は、翌日【金曜日】を振替活動日とします。
奈良県北部の降水確率は、奈良気象台17時発表。
(<http://www.jma.go.jp/jp/yoho/335.html>)
- * 臨時活動日を月曜日にする事があります。
(事前に担当役員から連絡します。)

◆ CNF (セルロースナノファイバー)



原料として無限にある植物繊維を小さく分解したものです。

幅：4~100nm 長さ：5,000nm以上のサイズ (1mm=1,000,000nm)

特徴は、補強用繊維として一般的な、ガラス繊維や炭素繊維に比べ、軽くて強い、熱変形が少ない事などです。

用途は多様で、高強度の樹脂、食品包装材、食品や化粧品などの増粘剤などです。

鹿児島県で竹を原料に工業生産が始まっており、6月には、100トン/年のプラントが完成する予定です。

ならやまにも竹林があり、タケノコや竹を使った工作材料に利用されていますが、竹が日本の宝になる日が期待されます。(行々子)

会報誌【ネイチャーなら】・第182号

発行：奈良・人と自然の会

会長 鈴木 末一

URL：<http://www.naranature.com>



編集チーム代表：坂東久平